

株式会社バンダイ

カード事業部 事業管理チーム

渡部 佐和子さん



東京都台東区、株式会社バンダイ本社のラウンジにて。眼下には隅田川が流れ、右手奥には東京スカイツリーが聳える

わたなべ さわこ

1992年、愛媛県今治市生まれ。今治明德高等学校矢田分校卒。2014年専修大学経営学部卒業後、株式会社バンダイ入社。カード事業部で営業、企画を経て現在は事業管理チームに。趣味は飲み会とサウナ。コロナ禍の現在は家飲みを充実させている。

楽しみながら仕事をして、 人を楽しませる

「社会への目を開かせてくれたのは、大学時代のゼミだった」と渡部さん。希望がかない、株式会社バンダイに就職。仕事ではいろいろ大変なこともあるが、子供たち、そして職場の仲間の喜ぶ顔で一気に救われる——そう、笑顔で語る。

喜ぶ顔がモチベーションに

子供から大人まで楽しめる幅広い商品を販売している、言わずと知れた玩具メーカー。ガシャポン、キャラクター玩具、トレーディングカード…扱う商品は実に幅広い。数ある事業部の中で渡部佐和子さんは入社からカード事業部に所属する。

「子供のお小遣いでも、都心でも地方でも、誰でも手軽に手にできる商品に携わりたい」

そう思って、希望した部署だった。1年目は営業

チーム。2年目から企画チームに参加。企画チームでは一人で月に10本くらいの企画を考えた。

「若手だから怖いもの知らずのところもありました」

各自出し合った企画はまずは企画チームの会議で話し合わせ、ここを通った案が、営業、プロモーション、仕入れなどの関係チームを交えて検討される。

企画から始まり、商品が世に出るまで、クリアしていかなければならない工程の一つ一つに締め切りを設定し、それに追われるように目まぐるしく毎日を過ごす



↑学生時代、福原ゼミの卒業パーティー（後列右から4人目）



↑卒業時、地方に行く友人の送別会（一番奥）

した。

思い出深いのは3年目に企画提案から関わったキャラクターカードだ。

「版權元様からお預かりしている大切なキャラクターを100円のカードにどう形にすれば、子供たちに喜んでもらえるか。プレッシャーでした」

キャラクターの権利を持つ版權元様の担当者と折衝を重ね、制作部門と調整を行い、発売後に向けてPRの準備も行う。苦労の分だけ、世に出たときの喜びは格別だ。デパートのおもちゃ売り場で、カードを手にする子供の姿を目にしたときは…。

「売り場の隅で、こっそり泣いています(笑)。よかった～って。喜んでくれている姿を見ると、それまでの辛いことも忘れます。それがモチベーションになりました」

社会への目を開かせてくれたゼミ

愛媛県今治市で生まれ育った。

セレクトショップを営む母親の買い付けについて、子供のころからよく東京を訪れた。「東京は楽しいところ」と感じていた。都心部の大学に進学したいと思ったのは、自然な流れだった。

大学在学中は、サークルには入っていない。アルバイトなど、貴重な経験を積める場は多かった。母親の代わりに服の展示会に足を運び、買い付けをすることもあった。そして、何より一番の大きな経験を与えてくれたのがゼミナールだ。

福原康司ゼミではチームで企業向けのプレゼンテーション大会に参加するなど、社会と接点を持ちながら経営マネジメントを学んだ。「人生で一番勉強した」というほどで、発表の前など徹夜で準備に取り組んだことも少なくない。

「福原先生は社会に出ている人との関わりを大切に、OBや外部の人との接点を与えてくれました。そう

することで社会に出て戦える人を育てようとしてくれていたのだと思います」

ぼんやりとしか考えていなかった将来のことを、真剣に考えるようになった。自分の強みは何か。何を目的に働くのか。

志望したのは、玩具メーカー、ビールメーカー、芸能プロダクション…。「好き」という気持ちを大切に選んだ。そして、ゼミで鍛えたプレゼン力を武器に就活を戦った。

「福原ゼミで学んでなければ今の職場で働くこともなかったろうと思っています」

楽しいと思えることを仕事に

バイタリティ溢れる母。自由で芸術肌の父。楽しいと思えることを仕事にしている両親の姿に影響を受け、「自分も楽しく働いていきたい」と思っている。

入社から7年目。現在は企画チームを離れ、事業管理チームで、仕入れ、生産管理、商品検査など、全体を統括管理する業務に奮闘している。

業務のデジタル化推進も重要な仕事だ。コロナ禍の中、リモートワークでも問題なく業務を進められるシステムの構築を進めている。

「あれも、あそこも改善した方がいいんじゃないかと、気になることは手を出してしまって、ついつい仕事しすぎになってしまいます(笑)」

営業、企画を経験してきたからこそわかることがある。これまでの経験を活かして、みんなが仕事しやすい環境を整えていくことに「新たなやりがいを感じている」。

社内恋愛の末、2017年に結婚した。休日、ショッピングに出かけた際など、夫婦でおもちゃ売り場を見てあれこれ思いめぐらすのもまた楽しい。将来、子供ができたなら、「自社のおもちゃで遊ぶ姿を見るのも楽しみ」と明るく話す。